

### 仲代氏の足跡が分かるように！

伊藤議員 中島図書館跡に無名塾・仲代達矢氏の顕彰コーナーを予定し、今準備が始まっている。全国のファンの皆様は満足していただきたいが、計画についてどのようになっているのか。仲代さんの思い出など本人の生の声が聞けるコーナーや舞台の貴重な衣装やセットのほか、「マクベス」などの公演で協力いただいた市民ボランティアの記録や写真など、ファンの方々の声も募ったものにしてほしい。

不嶋市長 長年にわたり仲代達矢氏、無名塾との交流を通して育んできた演劇のまちづくりの実績・足跡があり、いろんな形で紹介していくことが大事だと考える。友の会やボランティアの皆さんの意見が反映できるように、演劇のまち振興事業団が今まさに、演劇のまちの歩み調査を行おうと検討している。主役は基本的に地域の皆さんで、これまでまちづくりに取り組んできた足跡がわかるような形で展示コーナーが良いのではないかと考えている。平成30年春にはオープンを目指している。

その他の質問項目

- 国際交流協議会 ■公立保育園の民営化
- 放課後児童クラブ ■花嫁のれん館 ■小丸山公園



仲代氏が監修した能登演劇堂

### 認知症に対する理解を深めよ！

山崎議員 七尾市における認知症サポーター養成講座の研修状況はどうなっているのか。認知症の方、またはその家族、地域住民との意見交換、相互交流、相互理解を広げていくための取り組みの必要性について、どのように考えているのか。地域住民が認知症の方への理解を進め、いっしょに、相互交流する機会として認知症カフェを関係団体と協働して実施していくことも大切だと思うが、どのように考えているのか。

津田健康福祉部長 認知症サポーターに関して、地域や職場において、平成27年度末までに認知症サポーター養成講座を97回開催し、3,520名の方がサポーターになっている。認知症の方や家族が地域で安心して生活できるよう、地域住民との交流の機会・場づくりを支援することは、行政の取り組みとして重要。昨年度は認知症の方やその家族が地域の住民と交流する場として「認知症家族の寄り合い」など事業を実施し、集会所やグループホームなど22会場で開催し、延べ3,133人が参加。また介護事業所などが独自に運営する認知症カフェが2カ所開設され、認知症の方や家族が支え合う拠点となっている。今後も関係団体等と連携し、地域ボランティアの協力も得ながら、事業を通じて認知症に対する市民の理解を広げていく。

その他の質問項目

- 小学校の教育環境 ■個人番号カード
- 特別支援保育 ■市街地観光交流



オレンジリング(認知症サポーター)

### 移住定住サポートの充実を！

木下議員 ハッピーリタイヤメント構想のその後の移住定住施策は、どのような実績を上げてきたのか。また、能登へ担い手となる若い人材を誘致することを目的とする「一般社団法人能登定住・交流機構」では、若い層が移住するには仕事探しが重要と考え、求人票だけでは仕事の魅力が伝わらないこともあり、移住希望者の手助けをし、いろいろとお世話をしている。その結果、昨年七尾市には15人が移住しており、今後はより積極的にこの団体と繋がってほしい。

岡野総務部長 平成25年から3年間で、県外から51世帯126人、県内から49世帯131人。市内在住で住宅取得奨励金等を受けて七尾市内に踏みとどまった世帯が280世帯973人となり、一定の成果が上がっている。また、「一般社団法人能登定住・交流機構」との連携は、移住相談や空き家見学などを一緒に行うなど情報を共有しながら移住希望者への対応を現在もしている。なお、市内の移住からなる移住者の会が昨年11月に発足するなど、これまでの連携の成果も生まれてきている。今後も引き続き連携を深めて移住希望者や移住してきた方々へのサポートをしっかりとしていく。

その他の質問項目

- 子育て支援策



移住定住の窓口

### 市民目線での図書館運営を！

山添議員 七尾市の図書館協議会は、図書館法に基づき設置されている。協議会は、市内の図書館活動全般に対し協議をするもので、図書館の運営に携わるものではないと考えるが、見解は。もし違うのであれば、協議会とは別に市民目線で運営に携わることのできる図書館運営委員会を設置してはどうか。そして、より多くの市民に図書館活動に参加してもらうようPRし、地域に見合った図書館活動を自らの手で作り上げるための委員募集をしてはどうか。

近江教育長 七尾市図書館協議会の委員は、七尾、能登島、中島、田鶴浜地域の代表、図書館友の会、社会教育委員などで構成されており、年3回の会議を開催し、地区の図書館を含む4館の運営方針、年度の事業方針、課題等について審議している。協議会が各地区の図書館の運営にこのような形で関わっているが、友の会などのボランティア団体、図書館サポーター、こうした方々が図書館活動に積極的に参加する仕組みが出来ている。こうした地域のニーズに沿った図書館として現在もしっかり機能しているため、運営委員会の設置は考えていない。

その他の質問項目

- 学力調査 ■障害者差別禁止 ■平和の取り組み



市内の図書館

### でか山を生かして積極的PRを！

杉本議員 「日本一のでか山」ということをPRできないか。また、観光行政の具体的な施策として、曳山常設展示館の建設を目指し、基金を計画的に積み立ててみてはどうか。展示館建設によって七尾の観光資源の拡充を図ってはどうか。

不嶋市長 でか山保存会は法人格がないため、商標登録を行うのが難しいとは思いますが、「日本一のでか山」と先に名乗って、言ったもの勝ちのところはある。その辺は、でか山保存会と各山町らといういろいろと検討をしながら、全国発信に努めたい。また、展示館の建設には多額の費用もかかる。あらゆる角度から事業化を進めていく必要もあり、相当煮詰めていく必要がある。今後、ユネスコ登録の動向や地元熱意・気運の高まりなどをしっかりと受け止め、七尾の見所をもっと一つ作るという観点で議論していく。基金拡充についても、保存会の方で寄付を募る動きになれば、受け皿はあるのではありませんか。その趣旨に賛同して、寄付が増えることも期待する。なお、青柏祭のでか山行事自体が観光資源だと思っているため、でか山に限らず七尾の様々な観光資源に磨きをかけて、しっかりとプロモーションをし、全国発信し、交流人口の拡大に努めていく。



3台のでか山

### CATVの効率的な運営を！

高橋議員 ケーブルテレビのサービスは、一部地域の難視聴解消など、住民の日常生活に密着したもので行政情報の提供や情報取得に重要な役割を果たしている。一方で、加入率が伸びず、コストの問題もある。現在のケーブルテレビの加入率はどれくらいか。また、加入促進、システム保守管理、番組制作など民間に委託する可能性について検討していないか。

白田市民生活部長 6月1日現在で、7,881件の加入者で37.8%の加入率。また、民間委託については、放送設備の保守管理も含めて、時間外での障害対応や加入者宅の機器障害対応のコールセンター運営など平成23年度から民間委託している。これによって迅速な対応が可能となっている。今後は、料金収納業務等の民間委託について、効率的で経費の削減を見込めるとして検討をしているところ。番組制作業務については、迅速な行政情報の発信や地域に密着したきめ細かい番組制作の観点から平成27年度は388本の番組を直営で制作し放送していることもあり、市民のニーズに合った番組制作と放送が可能かどうか、またどれだけの削減効果が見込めるのかを見極めながら検討していく。

その他の質問項目

- ミニシティセンターの運営 ■ふるさと納税



ケーブルテレビの編集作業